

コロナ感染症の流行の拡大のため、令和元年から3年間市民まつりは中止されてきました。このコロナ禍が少し収まったため4年ぶりの「若葉まつり」が開催となりました。

しかし13・14日も、小雨が時々降るあいにくの天気でしたが両日ともまつりが盛り上がる時間に雨がやんでくれました。

そのため、市役所前大通りで行われたパレードには、大勢の観衆が沿道につめかけて、コロナ禍で溜まった閉塞感が払拭されたようです。



若葉まつりのパレードに大勢の市民が集まった

相模原市若葉まつり (5月13、14日)
市民会館前で たこ焼き販売とガチャ

光が丘地区社協の模擬店は「たこ焼き」販売と手作りの「ガチャ」に行列ができることも



たこ焼き販売とガチャの模擬店

光が丘地区社協の模擬店では恒例となった「たこ焼き」を8個入り350円で販売しました。

温かな焼きたてを口にされたお客様からは、とても美味しいとの高評価、二日間の売り上げは約40万円でした。



手づくりのガチャ2台が子どもたちに大人気

しかし、たこ焼きは大勢のボランティアに支えられています。4年ぶりでなれないためか、たこ焼きに使用していたガスボンベの2機の内1機がガス欠になる事態が発生しました。

たこ焼きの売り場に行列が出来、皆で必死で頑張つて対応し、結果的に用意した材料を売完することが出来ました。売完後、急に雨が強くなってホットしました。

また、子どもたちに楽しんでもらうとガチャガチャを1回100円でやってみてもらいました。

廃材を使った手作りのガチャガチャ機の構造が注目されました。売り上げは約3万円ありました。

「たこ焼き」と「ガチャ」の合計の利益が約10万円となりました。地域の福祉活動資金とさせて頂きます。市民とボランティアの皆様のご協力ありがとうございました。



3月 公民館まつり



2月 福祉講座



11月 お年寄りの集い



10月 ふれあい交流会 (街並み点検)

令和5年度の事業計画

地区社協は基本的な「重点項目」「年間事業計画」を次のように掲げて活動しています。

◆ 重点項目 ◆

1. 「光が丘地区福祉の里づくり」実現に向けて、地域福祉活動の推進を図る。
2. 福祉協力員・福祉関係団体・学校・公民館・地域住民との連携を密にし、地区内福祉活動の推進を図る。特に学校との交流を行い、児童・生徒に福祉についての理解を深めてもらう。
3. 地区社協活動の認知度を高めるための意識啓発活動を推進する。
4. 若者世代の地域活動への参加促進・こども会議の開催に取り組む。(JCMも応援団に委託)
5. 光が丘ふれあいセンターを活用した地域福祉活動に取り組む。
6. SDGs を意識した地域福祉の啓発・推進に取り組む。

◆ 年間事業計画 ◆
 前記の目標を実現するために、

地区社協組織を整備し、委員会・事業部会制に基づく各事業を実施する。

里づくり推進委員会活動の充実
 ・ひかりサポートセンターの運営、推進
 ・ふれあいいいきサロン活動の推進
 ・子育てサロン活動の推進

光が丘ふれあいセンターの活用
 ・福祉の相談窓口の運営及び活動の充実
 ・ひかりサポートセンターの運営、推進
 ・にぎわい処の推進

障がい者等への理解の推進

青少年委員会の活動に関してはこども応援団と協力して推進する。

広報紙や事業報告のまとめ誌発行などにより、地区社協・福祉の里づくり活動の情報を発信する。

上溝団地健康団地の推進

光が丘地区社協
 の主な年間行事

- 5月 若葉まつり(13・14)
 総会及び表彰状授与式(27)
 - 6月 新旧理事研修会(1)
 サロン代表者会議(15)
 福祉協力員研修会(27)
 - 7月 地域内福祉活動団体に助成金交付
 - 8月 市社協賛助会員募集運動へ協力(一般賛助会員募集4月～8月)
 光が丘地区ふるさとまつり(19)
 - 9月 地区社協理事視察バス研修(街頭募金(1))
 - 10月 ふれあい交流会(7)
 お年寄りの集い(11)
 ダイヤモンド婚のお祝い(15・16)
 - 12月 役員懇親会(6)
 こども未来ワールド
 - 2月 福祉講座兼福祉協力員研修会(10)
 - 3月 陽光台公民館まつり模擬店(2・3)
 光が丘公民館まつり模擬店(9・10)
- 〔随時〕
 ・役員会・理事会の開催
 ・福祉の里づくり委員会の開催



6月 福祉協力員研修会



8月 光が丘地区ふるさとまつり



10月 街頭募金

・広報委員会の開催
 ・地域内の学校、こどもセンター、地域包括支援センターとの交流
 ・ふれあいいいきサロン、子育てサロンの推進